

大鳥中学校区 小・中連携子ども育成プランの具体的内容（令和6年度）

目指す児童・生徒像 主体的に考え行動できる児童・生徒	令和6年度 重点項目 ・「自分の考えを表現できる児童・生徒の育成」
-------------------------------	--------------------------------------

今年度重点項目を受けて、重点的に取り組む内容に「☆」

具 体 的 な 連 携 方 法	カリキュラムの連続		取組項目	具体的内容
			授業研究	年数回、主体的に考えて行動できることを意図した参観授業を行い、系統性の観点から協議を行う。
			読書指導	各学校において、読書をする環境を整え、落ち着いた中で読書習慣を定着させ、豊かな感性、想像力、読解力の育成を図る。
		☆	小中共通のきまり	小中学校一貫した生活指導、学習指導を行うためのきまりや規律を共有し、小中共通した指導を行う。
	児童・生徒の交流		授業体験	中学校の施設で普段中学生が使用している教材・教具を実際に使いながら中学校教員による授業を受けることで、中学校の教科学習の楽しさを体験する。また、共に授業体験をすることで、他校児童との交流も図る。
			大鳥中学生会による学校紹介	学校紹介を通し、中学校生活について理解を深め、中学校生活に希望をもたせる。 部活動を紹介し、部活動への興味・関心をもたせる。
		☆	いじめ問題を考える めぐる子ども会議	小学5年生・中学2年生全員を対象にいじめ問題を考える取組を共同で行うことを通して、一貫していじめはいけないことであることを考えさせ自覚を促す。
	教職員間の相互理解		授業研究	年3回の参観授業を行い、主体的に考えて行動できることを意図した授業実践についての協議をすることで、連携を深めていく。
		☆	生活指導の情報交換	生活指導面での情報交換や指導基準の共有を行い、児童・生徒の生活の実態について共通理解を図り、小中共通した視点で、9年間を見据えた指導を行っていく。
			児童・生徒の交流活動の充実	児童・生徒の交流活動のあり方や、各行事の企画・運営について情報を共有する。
			校長・副校長・教務主任・生活指導主任の 連絡会	校内での協議やアンケート結果などを持ち寄り、校長、副校長、教務主任、生活指導主任の連絡協議で「小・中連携子ども育成プラン」について十分な検討、共通理解、推進を図る。なお教務主任間、生活指導主任間で連絡会をもち、提案・調整事項をまとめる。

接続期の連携		児童対象の中学校体験	小学6年生が中学校を訪問した際に授業の体験、生徒会による説明会、部活動紹介などを実施し、小学6年生の中学進学への希望をもたせ、不安などを解消する。
		保護者対象の中学校説明会	9月学校説明会、2月入学説明会をはじめ、年数回の授業公開などを積極的に行い、中学校の様子を知ってもらう場とする。
		担任連絡会	3月中旬に大鳥中学校へ進学する生徒に関する情報交換を担任等で行う。進学後の様子についても協議会等で情報交換を行い、指導の共通理解を図る。
		キャリア・パスポート	小学1年生から中学3年生まで、発達段階に応じて「なりたい自分」を明確にし、と前期・後期の振り返りを行い、9年間を通じて自己の成長を感じ、可能性を伸ばしていけるようにする。
	☆	接続期の指導（4月～6月は中学1年生、1月～3月は小学6年生で指導）	1月～3月：小学6年生において、6年間の生活や学習を振り返り、中学校での新たな生活に向けて希望や目標をもたせる。 4月～6月：中学1年生において、円滑に中学校生活が送れるよう丁寧な学校生活のガイダンス、定期考査に向けての学習の仕方などを指導する。また必要に応じて学級担任との面談などを行う。
家庭・地域との協力	☆	ホームページ・学校だより等での情報交換	各校のホームページで「小・中連携子ども育成プラン」について周知を図る。またそれぞれの取組を随時紹介する。連携校の学校だよりなどを紹介する掲示板を設け、学校訪問者への周知を図る。
		地域教育懇談会との連携（つなフェスタ）	地域教育懇談会主催の大鳥中学校でのつなフェスタを開催することで大鳥中学区の児童・生徒・地域とのつながりを深める。

< 振り返り >

	令和4年度の成果と課題
カリキュラムの接続	・ICTの活用について、さらに工夫して進めていくことが必要である。 ・交流会を通してカリキュラムの内容・接続について直接情報共有することができた。 ・学習や生活のきまりについて今後も情報交換をして、無理のない接続につなげたい。
児童・生徒の交流	・めぐる子ども会議では、方法を工夫して交流し意見交換をすることができた。 ・中学校体験では、冊子や動画を活用し、間接的な交流をすることができた。
教員間の相互理解	・計画通り、年3回の授業公開、意見交換を実施することができた。 ・情報端末を活用して、分科会以外のより多くの教員と情報交換をすることができた。
接続期の連携	・小6担任と中1担任の分科会を行っており、有意義な情報交換ができた。 ・今後も情報共有を図り、生徒理解を丁寧に進めていく。
家庭・地域との協力	・地域教育懇談会主催で行う行事「つなフェスタ」を実施することができた。 ・大鳥中学校区区の各校が連携して9年間を見据えた子どもの育成に取り組んでいることをホームページをはじめ、あらゆる機会を通して地域・保護者に情報発信していく。